

MEP乳剤 スミチオン乳剤	取扱メーカー： 協友アグリ、クミカ、サンケイ*、 日農、北興、ホクサン、一農、 住友化学、琉産 原体メーカー： 住友化学
成分： MEP〔有機リン系 PRTR・1種〕……………50.0% その他 PRTR 該当成分： キシレン〔PRTR・1種〕……………20%〈11～37%〉 エチルベンゼン〔PRTR・1種〕……………16%〈4.1～27%〉 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸(C=10～14)及びその塩(PRTR・1種)…0～4.5%	性状： 黄褐色可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級Ⅲ

【品目特性】……………

- 広範囲の害虫防除に用いられ、水稲害虫ではニカメイチュウを始め、ヒメトビウンカ、カメムシ類などに有効で、空中散布も可能で8倍及び30倍で使用する。ほとんどの果樹害虫に適用がありシンクイムシ、ハマキムシ、アブラムシ、カメムシ類などに有効。野菜ではあぶらな科を除く野菜のアブラムシ、テントウムシダマシ、スリッパスなどに、また、豆類、花き類、牧草などの害虫にも有効である。
- その他、スミチオン粉剤3DLの項参照。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- スミチオン粉剤3DLの項参照。
- 果樹のカメムシ類に対しては発生に応じてくり返し散布する。
- かきのミノガ類には若齢幼虫期の防除適期を失ないように散布する。
- 水稲種子の吹付け処理の場合は、専用の種子消毒機を使用し、乾燥種粒に均一に付着するよう所定量の薬液を吹付けて乾燥する。また、処理後長期保存する場合は、薬剤処理剤であることを明記し、食料や飼料にしない。
- イネシנגレセンチュウの本田での防除では、散布適期は出穂の頃である。また、出穂始めとその1週間後の2回散布が望ましい。
- 本田の水稲に対して希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型・速度連動式地上液剤少量散布装置を使用する。
- 希釈倍数250倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を利用する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 石灰硫黄合剤などアルカリ性薬剤との混用はさける。但しボルドー液とは使用直前の混用可。
- 育苗箱のイネシנגレセンチュウに使用する場合、発芽期～緑化期、軟弱徒長苗、ムレ苗、土壌が極端に湿潤な場合の使用はさける。
- 牧草地上に散布した場合は、散布直後の放牧はさける。
- マメ科植物のアルファルファゾウムシに使用する場合は、幼虫発生期～成虫発生初期に散布する。
- かんきつのミカンツボミタマバエ防除に使用する場合は、成虫の発生初期に樹冠部及び主幹部を中心とした樹の内部、樹冠下の地表面に散布する。
- 芝のコガネムシ類幼虫に使用する場合は、散布液が土壤中に十分しみ込むようジョロなどで1㎡当り3ℓを散布する。
- クワゾウムシには、成虫が桑樹に集まる4月下旬～6月頃に散布する。成虫の活動は長期間に渡るので発生状況に応じて追加散布する。
- フラーパーゾウムシ及びミカンキジラミに使用する場合は、植物防疫事務所、病害虫防除等関係機関の指導のもとに実施する。
- 適用作物（りんご、なし、もも、宿根かすみそう、ほうれんそう）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用作物（ひのき、あぶらな科作物、桑※など）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 共通注意事項8. 適用作物群に関する注意事項を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 空中散布及び無人航空機散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。
- 自動車、壁など塗装面、大理石、御影石にかか

らないよう注意。

●共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する
場合の注意事項を参照。

●共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を
参照。

●桑葉にかからないよう注意（蚕毒）。

●魚類に影響を及ぼすので、使用時は注意。

●魚類及び甲殻類に影響を及ぼすので、使用時並
びに使用後も注意。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用流量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	MEPを含む農薬 の総使用回数				
稲	ニカメイチュウ第1世代	1000～ 2000倍	60～ 150 ℓ	21 日前 まで	2回 以内	散布	3回以内 (種もみへの 処理は1回以 内、育苗箱 散布は1回以 内、本田では 2回以内)				
	ニカメイチュウ第2世代 サンカメイチュウ第3世代	800～ 1000倍									
	ヒメトビウンカ カメムシ類 イネツトムシ イネシガラセンチュウ イネドロオイムシ アブラムシ類 アワヨトウ ツマグロヨコバイ ※	1000倍									
	イネハモグリバエ	1000～ 2000倍									
	イネヒメハモグリバエ	2500倍									
	フタオビコヤガ	2000～ 4000倍									
	イネシガラセンチュウ	1000倍						—	は種前	1回	6～72時間 浸漬
		100倍									専用の種子消 毒機を用いて 乾燥種籾重量 の3%の量の 希釈液を種籾 に吹付け処理 又は塗沫処理
	ニカメイチュウ ヒメトビウンカ カメムシ類 イネハモグリバエ イネヒメハモグリバエ フタオビコヤガ イネツトムシ	30倍	3 ℓ	21 日前 まで	2回 以内	空中散布					
	ニカメイチュウ カメムシ類	8倍	800 ml			無人航空機 による散布					
		300倍	25 ℓ					散布			
	稲 (箱育苗)	イネシガラセンチュウ	1000倍			育苗箱 (60×30× 3cm, 使 用土壌約5 ℓ) 1箱当 り500 ml		硬化期～ 移植前日	1回	育苗箱の上 から均一に 散布する。	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	MEPを含む農業 の総使用回数		
麦類 (大麦, 小麦 を除く)	アブラムシ類 アワヨトウ ムギキモグリバエ ムギアカタマバエ	1000倍	60～ 150 ℓ	14日前 まで	1回	散布	1回		
	ヒメトビウンカ	30倍	3 ℓ			空中散布			
	アブラムシ類	8倍	800 ml			無人航空機 による散布			
大 麦	アブラムシ類 アワヨトウ ムギキモグリバエ ムギアカタマバエ	1000倍	60～ 150 ℓ	7日前 まで		散布			
	ヒメトビウンカ	30倍	3 ℓ			空中散布			
		8倍	800 ml			無人航空機 による散布			
	アブラムシ類	250倍	25 ℓ			散布			
小 麦	アワヨトウ ムギキモグリバエ ムギアカタマバエ	1000倍	60～ 150 ℓ					空中散布	
	ヒメトビウンカ	30倍	3 ℓ						無人航空機 による散布
	アブラムシ類	8倍	800 ml						
とうもろこし	アワノメイガ カメムシ類	1000倍	100～ 300 ℓ		4回 以内	4回以内			
り ん ご	アブラムシ類	1000～ 2000倍	200～ 700 ℓ	30日前 まで	3回 以内	散布	3回以内		
	ナシヒメシンクイ モモシンクイガ ハマキムシ類 ナシグンバイ	1000倍							
	クワコナカイガラムシ	1500倍							
	アメリカシロヒトリ	1000倍							
な し (有袋栽培)	アブラムシ類	1000～ 2000倍	200～ 700 ℓ	14日前 まで	6回 以内	散布	6回以内		
	シンクイムシ類 ハマキムシ類 ナシグンバイ ナシホソガ ナシチビガ カメムシ類	1000倍							
	クワコナカイガラムシ	1500倍							
	アメリカシロヒトリ	1000倍							

[illegible]

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	MEPを含む農薬 の総使用回数
か ん き つ (みかんを 除く)	アブラムシ類	1000～ 2000倍	200～ 700 ℓ	14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内 (樹幹処理 は 1 回以内)
	ハマキムシ類 サンホーゼカイガラムシ アザミウマ類 ※ カメムシ類 カネタタキ ミカンツボミタマバエ ケシキスイ類 コアオハナムグリ フラーバラゾウムシ ミカンキジラミ コナカイガラムシ類	1000 倍					
	アブラムシ類 フタテンヒメヨコバイ ブドウスカシバ ブドウトリバ	1000～ 2000 倍					
	ハマキムシ類 ブドウトラカミキリ キンケクチプトゾウムシ成虫	1000 倍					
	クワコナカイガラムシ	1500 倍					
	アブラムシ類 フタテンヒメヨコバイ ブドウスカシバ ブドウトリバ	1000～ 2000 倍					
	ハマキムシ類 ブドウトラカミキリ キンケクチプトゾウムシ成虫	1000 倍					
	クワコナカイガラムシ	1500 倍					
	アブラムシ類	1000～ 2000 倍					
	ハマキムシ類 ナシグンバイ アメリカシロヒトリ	1000 倍					
お う と う	アブラムシ類	1000～ 2000 倍	0.3～3 ℓ / 樹	21 日前 まで	3 回 以内	樹幹散布	3 回以内
	ハマキムシ類 ナシグンバイ アメリカシロヒトリ	1000 倍					
う め	アブラムシ類	1000～ 2000 倍	100～ 300 ℓ	前日 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
	アメリカシロヒトリ ハマキムシ類	1000 倍					
オ リ ー プ	オリーブアナアキゾウムシ	50 倍	0.3～3 ℓ / 樹	21 日前 まで	3 回 以内	樹幹散布	3 回以内
オ リ ー プ (葉)				120 日 前まで			
い ち ょ う (種子)	コウモリガ ヒメボクトウ	100 倍	100～ 300 ℓ	60 日 前まで	2 回 以内	散布	2 回以内
い ち ご	アブラムシ類	2000 倍		前日 まで			
ほうれんそう		1000～ 2000 倍		21 日 前まで			
	ホウレンソウケナガコナダニ	2000 倍					

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	MEPを含む農業 の総使用回数			
ね　　ぎ	アブラムシ類	1000～ 2000倍	100～ 300 ℓ	14 日前 まで	2回 以内	散布	2回以内			
	アザミウマ類	700～ 1000倍								
	ネギコガ	1000倍								
ご　　ぼ　　う	アブラムシ類 フキノメイガ	1000～ 2000倍		21 日前 まで	5回 以内			5回以内		
た　ま　ね　ぎ	アブラムシ類	700～ 1000倍								
ト　　マ　　ト	アブラムシ類 オオニジュウヤホシテン トウ	2000倍		前日 まで	5回 以内			5回以内		
な　　す	アブラムシ類 テントウムシダマシ類	1000～ 2000倍								
き　ゆ　う　り メ　　ロ　　ン し　　ろ　　う　り	アブラムシ類 アザミウマ類	1000倍								
す　　い　　か	アブラムシ類	1000～ 2000倍		3 日前 まで	6回 以内			6回以内		
	アザミウマ類	700～ 1000倍								
か　　ぼ　　ち　　や	アブラムシ類	1000～ 2000倍		14 日前 まで	3回 以内			3回以内		
	アザミウマ類	700～ 1000倍								
だ　　い　　ず	マメシンクイガ ダイズサヤタマバエ シロイチモジマダラメイガ マメヒメサヤムシガ カメムシ類	20倍		3 ℓ	21 日前 まで			4回 以内	空中散布	4回以内
	ダイズサヤタマバエ シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤムシガ カメムシ類 ウコンノメイガ マメシンクイガ	8倍		800 ml					無人航空機 による散布	
	シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 マメヒメサヤムシガ ウコンノメイガ マメハンミョウ	1000倍	100～ 300 ℓ	散布						
	アブラムシ類	1000～ 2000倍								
	マメシンクイガ	1000～ 1500倍								

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	MEPを含む農薬 の総使用回数
豆 類 (種実, 但し, だいず, あずき, いんげんまめ, そらまめを除く)	シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 マメヒメサヤムシガ	1000 倍	100 ～ 300 ℓ	21 日前 まで	4 回 以内	散布	4 回以内
	アブラムシ類	1000 ～ 2000 倍					
	マメシクイガ	1000 ～ 1500 倍					
未成熟そらまめ	シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 マメヒメサヤムシガ	1000 倍		3 日前 まで	3 回 以内		3 回以内
	アブラムシ類	1000 ～ 2000 倍					
	マメシクイガ	1000 ～ 1500 倍					
豆 類 (未成熟, 但し, えだまめ, さやいんげん, 未成熟そらまめ を除く)	シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 マメヒメサヤムシガ	1000 倍		21 日前 まで	4 回 以内		4 回以内
	アブラムシ類	1000 ～ 2000 倍					
	マメシクイガ	1000 ～ 1500 倍					
え だ ま め	シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 マメヒメサヤムシガ ウコンノメイガ	1000 倍					
	アブラムシ類	1000 ～ 2000 倍					
	マメシクイガ	1000 ～ 1500 倍					
いんげんまめ さやいんげん	シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 マメヒメサヤムシガ インゲンテントウ	1000 倍					
	アブラムシ類	1000 ～ 2000 倍					
	マメシクイガ	1000 ～ 1500 倍					

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	MEPを含む農業 の総使用回数		
せり	アブラムシ類	2000 倍	100～ 300 ℓ	親株養成期 但し収穫45日 前まで	2回 以内	散布	2回以内		
たらのき	センノカミキリ幼虫 ヒメシロコブゾウムシ	100 倍	150～ 300 ℓ	3～5 月株養成期		樹幹散布			
茶	コカクモンハマキ チャノホソガ	700～ 1000 倍	200～ 400 ℓ	摘採 21 日前 まで	1 回	散布	1 回		
	ミノガ類	1000 倍							
まめ科牧草	ヨコバイ類 アブラムシ類 ウンカ類 ウリハムシモドキ ゾウムシ類	1000～ 2000 倍	100～ 300 ℓ	14 日前 まで	2回 以内		2回以内		
	ムギダニ ※	1000 倍							
いね科牧草	ヨコバイ類 アブラムシ類 ウンカ類 ウリハムシモドキ ゾウムシ類	1000～ 2000 倍							
	ムギダニ ※ アワヨトウ	1000 倍							
飼料用とうもろこし	アブラムシ類	2000 倍		30 日前 まで					
花き類・ 観葉植物	アオムシ バッタ類 ハマキムシ類 アザミウマ類	1000 倍						6回以内	
ばら	アブラムシ類	1000～ 2000 倍			—		6回 以内		
	フラーバラゾウムシ	1000 倍							
きく	アブラムシ類	1000～ 2000 倍							
	フラーバラゾウムシ カメムシ類 ヨトウムシ類	1000 倍							
	アザミウマ類 クロウリハムシ								
カーネーション									
宿根かすみそう	ハモグリバエ類								
りんどう	ヒラズハナアザミウマ								発生初期
アスター	ウリハムシ								—
ソリダゴ	カメムシ類								
スターチス	コガネムシ類								
シネラルリア	シンクイムシ類								
斑入りアマドコロ	コウモリガ								
ききょう	ヨトウムシ								

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用方法	MEPを含む農業 の総使用回数		
樹 木 類	アメリカシロヒトリ	500～ 1000倍	200～ 700 ℓ	—	6回 以内	散布	6回以内		
	フラーバラゾウムシ アブラムシ類 グンバイムシ類	1000倍							
	オオハリセンチュウ	500倍	—	移植前	1回	30分間根部 浸漬			
	つつじ類	グンバイムシ類 ハマキムシ類	1000倍	200～ 700 ℓ	—	6回 以内		散布	
せんりょう	アザミウマ類 カメムシ類								
こでまり	カイガラムシ類								
しきみ	クスアナアキゾウムシ								
にしきぎ	ケムシ類								
しゃりんばい だいおうしょう	シンクイムシ類								
さかき	ハマキムシ類	25～ 180 ℓ		20日前 まで	1回				
さんごじゅ	ワタノメイガ								
げつきつ※	ミカンキジラミ								
たばこ	ヨトウムシ				1回				
しちとうい	イネクロカメムシ	60～ 150 ℓ		発生初期	2回 以内		2回以内		
芝	シバツトガ スジキリヨトウ	0.3～2 ℓ /m ²	6回 以内		幼虫発 生期	6回以内			
	コガネムシ類幼虫	3 ℓ /m ²							
	シバオサゾウムシ								
桑※	クワゾウムシ成虫	500～ 750倍	100～ 300 ℓ	成虫発 生期					

※：同一薬剤名（会社名を除き）であっても登録内容が異なる箇所。使用時には必ずラベルで登録内容を確認すること。

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	本剤の 使用回数	使用 方法	MEPを含む農業 の総使用回数
水田作物、 畑作物 (休耕田)	ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田	カメムシ類	1000倍	60～ 150 ℓ	4回以内	散布	4回以内